

電動バイク共用の家庭用蓄電池 レスク、低価格で発売

2011/8/3 0:02 | 日本経済新聞 電子版

停電時はバイクから外して家庭用蓄電池に――。電動車両(EV)ベンチャーのレスク(東京・渋谷、鈴木大介代表取締役)は週内にも電動バイク用リチウムイオン電池を活用した低価格の家庭用蓄電池を発売する。単体のほか電動バイクとのセットでも販売する。単体の価格は42万円と家電量販店で扱う同様製品の半額程度。EVから外して家庭用に使える蓄電池は業界初という。

レスクの電動バイク「スカルピーナ」は電池と充電器が付いている。これにインバーターを加えたセットは当面52万5000円。同バイクに搭載する電池を家庭で使えるようにした。

蓄電池は中国BYD製リチウムイオン電池。2～3時間の充電で、消費電力が200ワットの薄型テレビなら4～5時間見られるという。当面、約10カ所のバイク用品店などを通じ、将来は家電量販店でも販売する。

電力不足を背景に家庭用蓄電池への関心が高まっている。ビックカメラが最大出力1000ワットで容量2.4キロワット時、ヤマダ電機が同500ワット、1000ワット時の製品を、それぞれ実売79万8000円で販売している。

NIKKEI Copyright © 2011 Nikkei Inc. All rights reserved.

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。